

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会  
北海道障がい者就労支援センター

# 就労支援業務事業評価書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

令和2年11月

指定法人事業評価委員会

## ■評価の基本的な考え方

指定法人事業評価委員会は、北海道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例(平成21年北海道条例第50号)第31条第8項の規定に基づき、社会福祉法人北海道社会福祉協議会(北海道障がい者就労支援センター)の平成31年度における障がい者就労支援業務の実績について、以下の基本的な考え方により評価を行った。

評価の実施に当たっては、北海道が示した、指定法人要求水準書に定めた事業ごとに、その実績を記載した就労支援業務事業報告書及び法人からの聴取を基に評価委員の全体協議により「項目別評価」及び「全体評価」を行う。

### 1 項目別評価

指定法人要求水準書に掲げる事業ごとに、平成31年度の事業計画の達成状況について、4段階により評価する。

A: 計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。

B: 計画に基づき適正に実施されている。

C: 計画に対し、やや不十分な内容である。

D: 計画に基づき実施されておらず、重大な改善事項がある。

※C及びD評価の場合は、指摘及び改善事項等について、意見を付すものとする。

### 2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえて、平成31年度における事業実績の全体について、上記により4段階評価する。

## ■指定法人事業評価委員会委員

分野	所属	氏名	備考
学識者	北翔大学生涯スポーツ学部	梶 晴 美	委員長
保健福祉	くしろ・ねむろ障がい者就業・生活	高 谷 さふみ	委員
企業関係者	株式会社ほくでんアソシエ	茂 森 実	委員

## ■指定法人事業評価委員会開催(書面開催)

審議期間 令和2年9月29日(火)～11月11日(水)

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p style="text-align: center;"><b>全 体 評 価</b></p> <p>授産事業所における収益力の向上等を図るため、第5期北海道障がい福祉計画に基づき、授産事業の経営力向上や受注拡大等に向けた支援の取組を行う。</p>	<p>関係機関との連携を図りながら、授産事業所のニーズに応えた指導、助言及び研修を実施し、事業所の経営改善や販路拡大に向けた取組を実施した。</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>※計画に基づき、適正に実施されている</b></p> <p>H30年度の活動が単年で終わることなく、農福連携商品の販売や千歳空港での販売などブラッシュアップしながら活動し令和元年度に実績が向上したことを高く評価する。</p> <p>新型コロナによる行事の中止等はあるものの、全体として適性に実施している。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>I 工賃向上計画の策定・推進事業</p> <p>「工賃向上計画」策定事業所等に対し、専門家等を派遣するなどし、経営相談・技術指導等を実施。</p> <p>■ 個別経営相談 経営の専門家である中小企業診断士により、各事業所が作成している「工賃向上計画」に基づいた個別経営相談を実施することにより、授産事業所における計画の適切な推進とそれによる工賃の向上を図る。</p> <p>【要求水準】</p> <p>★ 授産事業所のニーズに対応した方法(実施地域・時期等)で実施されること ★ 経営等に関し十分な知識を有するコンサルタントが選任されること ★ 相談内容や相談による効果等を公表し、他事業所の相談依頼に結びつけること</p>	<p>■ 個別経営相談</p> <p>1 障がい者の就労等に精通した中小企業診断士による経営相談会の実施</p> <p>【個別経営相談(集合)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ とき 令和2年3月4日(水)</li> <li>・ 内容 中小企業診断士による「工賃向上計画」策定の推進、計画達成のための経営改善等の指導</li> <li>・ 平成27年度より相談料無料。</li> </ul> <p>※ 個別相談概要をQA方式でHPに掲載した。 「個別経営相談会 こんな相談ありました！」</p> <p>※ 令和元年度相談会に出席しやすいように、他研修会の終了後の開催日程とし、直送にて案内を行った。</p> <p>※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【個別経営相談(派遣)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施 ※日々の相談から必要に応じマッチング事業コーディネーター対応</li> <li>・ 対応者:大泉浩一中小企業診断士(マッチング事業コーディネーター)</li> </ul> <p>【主な相談対応内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行政機関内にある食堂を運営している事業所より、新メニューの相談があり、新メニューの提案及び原価計算方法について助言を行った。</li> <li>○ 生椎茸を生産している事業所より、加工食品の商品開発について相談があり、地元特産品(にじます・椎茸)を使用した加工食品の提案を行った。</li> <li>○ 甜菜製糖会社より工場の人材不足に伴う福祉との連携について相談があり、地元障がい福祉サービスとの連携について助言を行った。</li> </ul> <p>2 経営コンサルタントの確保と活用</p> <p>① 工賃倍増集中対策事業で活動実績のある中小企業診断士を選定し、個別経営相談を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・ 中小企業診断士 野崎 晴行 氏</p> <p>② 中小企業診断士執筆の工賃向上に関するメールマガジン「工賃向上ワンポイント」の配信を実施した。 ・ 執筆者 中小企業診断士 小松 康晴 氏</p> <p>・ 平成31年4月～令和2年3月<sup>㉞</sup>～<sup>㉟</sup>号を配信。 (平成27年より通算)</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>※計画に基づき、適正に実施されている</b></p> <p>案内の発送やQ&amp;AのHPへの記載などが相談件数増加の要因と考えられ、新型コロナウイルスの影響により集合相談は中止となったものの、オンラインによる実施を調整するなど現在の状況下で適正に事業を実施している。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>■ <b>経営・技術指導</b>            企業経営に関する基礎知識や製造技術等の専門技術等に関する講習等の実施により、授産事業所における企業経営的ノウハウの導入及び職員の資質の向上を図る。</p> <p>【要求水準】            ★ 授産事業所のニーズに対応した方法(実施地域・時期等)で実施されること            ★ 様々な製品又は役割に応じた技術指導がなされること            ★ 企業経営的ノウハウの導入、職員の資質向上(営業力向上等)に向けた効果的な取組であること</p>	<p>■ <b>経営・技術指導</b></p> <p>1 研修会の実施</p> <p>① 社会就労センター施設長及び事業所経営セミナー  <b>【社会就労センター施設長・職員研修会の実施】</b>            ・ とき 令和元年6月19日(水)～6月20日(木)            ・ ところ 札幌市／北海道第二水産ビル            ・ 参加者 93名            ・ 内 容            1)中央情勢報告            報告 高江 智和理 氏(北海道社会就労センター協議会 会長)            2)講義1「クライアントハラスメント」            講師 沢田 寿晴 氏(社労士オフィスONE・合同会社Next One 代表)            3)行政報告「障害者就労支援施策の動向            ～これまでとこれからの就労系障害福祉サービスについて」            講師 石井 悠久 氏            (厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 課長補佐)            4)講義2「経営改善について」            講師 辻井 啓作 氏(有限会社ともえ産業情報 取締役社長)</p> <p><b>【事業所経営セミナーの実施】</b>            ・ とき 令和2年3月3日(火)～4日(水)            ・ ところ 札幌市／北海道自治労会館            ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>② 工賃向上に関する研修会  <b>【利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会の実施】</b>            ・ とき 令和元年10月17日(木)～18日(金)            ・ ところ 新ひだか町／新ひだか公民館・新ひだか町コミュニティセンター            ・ 参加者 60名            ・ 内 容            1)先進地視察「新冠ほくと園」「浦川べてるの家」            2)講義「工賃向上を目指す仕事づくり、職場づくり」            講師 向谷地 生良 氏(社会福祉法人浦川べてるの家 理事／北海道医療大学看護福祉学部 教授)</p> <p>2 工賃向上マニュアルのホームページへの掲載と周知            「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集をホームページで公開。</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>※計画に基づき、適正に実施されている</b></p> <p>アンケートをとって参加者の意向を聞くようにしたことは評価できる。いずれの研修も参加者の多くが参考になったと回答があり、また「施設長・職員研修」は地域からも評価されており、適性に実施していると評価する。</p> <p>ただし、工賃向上研修会のアンケートで「講義内容が工賃向上とは関係なく参考にならなかった」との意見があるため、講師との事前の打ち合わせは十分にしてほしい。</p> <p>今後も参加者の意見を反映した研修内容やタイムリーなHP更新・情報発信に期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>■ 授産事業に関するアイデア募集 授産事業所職員や一般道民などから、授産事業に関するアイデアを募集し、その内容について実現の可能性等を検討するなどして、事業の改善や新たな取り組みにつなげる。</p> <p>【要求水準】 ★ 募集は、適切な時期に様々な機会を利用し、広く周知を図ること ★ 寄せられたアイデアは、客観的に分析・検討を行い、実現性のある取組については、有効かつ効果的に活用される内容であること</p>	<p>■ 授産事業に関するアイデア募集 【ニーズ調査】 保育所における木工製品のニーズ調査の実施 北海道保育協議会の研修会時に保育士等に対しアンケートを配布 調査時期 令和元年7月～9月 調査内容 ・回答者属性 ・授産事業所製品の認知度・購入意向 ・問題点・課題 ・商品開発の協力意向 調査対象 北海道・東北ブロック各道県・指定都市保育関係者 (保育所職員／保育所を運営する法人等の役職員／行政及び社協職員等) 配布先 ・北海道・東北ブロック保育研究大会参加者 と き 令和元年7月11日(木)～12日(金) ・第53回全道保育士等研究集会参加者 と き 令和元年9月9日(月)～10日(火) 回答数 118名(回答率19.8%)</p>	<p><b>B</b></p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>対象者・商品分野ともに的を絞った調査を実施・分析しており、適正に実施していると評価できる。 アイデア募集の目的等を設問に記載すると更に意見収集ができると感じた。 課題が見えて次に繋がる結果を得たようなので、この調査を活かした商品開発や販売に期待したい。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>II 授産事業所間の連携・共同化</p> <p>授産事業所の販路の確保・拡大や新規事業の検討、事業改善を図るため複数の授産事業所間による連携・共同化に向けた授産事業所へのアドバイスや業務の調整等を実施。</p> <p>■ 授産事業所間連携・共同化の促進 授産事業所間による事業の連携・共同化の促進を図るため、モデル事例の周知を図るとともに、連携・共同化に向けたアドバイス等を行う。</p> <p>【要求水準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 十分な知識を有するアドバイザーが選任されること</li> <li>★ 連携・共同化に向けた効果的な実施内容であること</li> <li>★ 取組内容、成功事例は積極的に公開・周知すること</li> <li>★ 地域のネットワークを活用した販路拡大がなされること</li> <li>★ 複数事業所間の連携による商品開発を促進すること</li> </ul>	<p>■ 授産事業所間連携・共同化の促進</p> <p>1 実施内容・方法</p> <p>① 共同受注システムの啓発 ナイスハートネット北海道の全国ネット化(日本セルフセンターと連携)を促進し、日本セルフ、沖縄県、岐阜県、茨城県、熊本県が加入している。道内全未登録事業所に対し郵送で登録の依頼。全登録事業所に郵送でid.passを再通知し、更新、商品登録を依頼した。</p> <p>② コーディネーター等による支援 マッチング事業コーディネーター及び地域スタッフによるコーディネートを行った。</p> <p>③ 展示販売会における出展事業所調整 「ほっかいどうナイスハートフェアinアリオ札幌」等への出展について、道内各事業所への通知又は出展希望の取りまとめ、調整等を行った。</p> <p>④ 授産事業所連携調整 ・「HOYAエコプロジェクト」へのノベルティグッズ受注の調整を行い、14事業所16商品が採用された。 ・北海道立子ども総合医療・療育センター内「コドモックル食堂」運営の調整を行い、共同運営を行う2事業所が採用された。</p> <p>⑤ 農業と福祉の連携を通じた工賃向上への取り組み ・「北のめぐみ愛食フェア」、「ノウフクマルシェ」等への出展調整 ・「近郊野菜コーナー」(イオン北海道)への農作物の商品提供</p>	<p>A</p>	<p>※計画に基づき適正に実施されており、特筆すべき内容である。</p> <p>マッチングは中止になった件数もあるが、事業所側の都合によるものも多く、コーディネーターの活動は丁寧であり評価できる。HOYAとJAIFA、コドモックル食堂の共同運営、農福マルシェ開催数の増加は評価できる。セコマや新千歳空港など多くの顧客が注目する相手先への商品提案を行うなど意欲的な取組も行われている。</p> <p>商品の共同開発事業での商品化・販売も今後期待したい。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>III 市場調査・商品開発事業</p> <p>魅力ある製品づくりと質の高いサービスの提供を行うため、市場調査及び商品開発に関する取組を実施。</p> <p>■ ニーズ調査及び商品評価 企業等のニーズ把握と商品評価により、授産事業所の商品力の向上を図る。</p> <p>【要求水準】 ★ 授産事業所の意向等を踏まえた効率的かつ効果的な取組であり、成果品(データ)の有効活用が図られるものであること</p> <p>★ アドバイス実施後の改善状況を広く周知し、多くの事業所に活用されるものであること</p>	<p>■ ニーズ調査及び商品評価</p> <p>【ニーズ調査】(再掲) 保育所における木工製品のニーズ調査の実施 北海道保育協議会の研修会時に保育士等に対しアンケートを配布 調査内容 回答者属性、授産事業所製品の認知度・購入意向、問題点・課題、商品開発の協力意向 調査対象 北海道・東北ブロック各道県・指定都市保育関係者(保育所職員／保育所を運営する法人等の役職員／行政及び社協職員等) 配布先 ・北海道・東北ブロック保育研究大会参加者 とき 令和元年7月11日(木)～12日(金) ・第53回全道保育士等研究集会参加者 とき 令和元年9月9日(月)～10日(火) 集計結果 回答数 118名(回答率19.8%) 北海道保育協議会の研修会時に保育士等に対しアンケートを配布 調査時期 令和元年7月～9月 調査内容 ・回答者属性 ・授産事業所製品の認知度・購入意向 ・問題点・課題 ・商品開発の協力意向 調査対象 北海道・東北ブロック各道県・指定都市保育関係者(保育所職員／保育所を運営する法人等の役職員／行政及び社協職員等) 配布先 ・北海道・東北ブロック保育研究大会参加者 とき 令和元年7月11日(木)～12日(金) ・第53回全道保育士等研究集会参加者 とき 令和元年9月9日(月)～10日(火) 回答数 118名(回答率19.8%)</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>ニーズ調査は実施されたものの、実施計画にある商品の検討・試作・商品化・販路拡大は次年度以降に持ち越しとなっている。アンケート結果は丁寧な分析をしておき考察も具体的でわかりやすい。次年度のヒアリングを想定したことは評価できるものの、対象が限られたこと、母数が少ないことからニーズの把握という面では懸念が残った。 製品や販売の課題など、次に繋がる調査結果は得たようなので、この調査を活かした商品開発や販売に期待したい。</p>



実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>■ <b>商品開発に関する研修</b>            専門家による商品開発等に関する実践的アドバイスにより、授産事業所の商品・サービスの向上を図る。</p> <p>【要求水準】            ★ 授産事業所や市場ニーズを踏まえたテーマ等が設定されること            ★ 十分な知識を有する者を講師が選任されること</p>	<p>■ <b>商品開発等に関する研修</b></p> <p>1 実施方法            「複数事業所が連携した共同開発事業」の実施</p> <p>&lt;1回目&gt;            ・とき 令和元年6月25日(火)            ・ところ 札幌市／かでの2.7            ・参加者 9事業所            ・内容            農産物を生産している事業所と加工食品を製造している事業所のプレゼンテーション及び新商品レシピ素案(ネーミングを含む)の完成</p> <p>&lt;2回目&gt;            ・とき 令和元年8月29日(木)            ・ところ 札幌市／かでの2.7            ・参加者 9事業所            ・内容            商品開発において開発した新商品の試食を行い、講師から助言・アドバイスを受け、商品の改良を行う。</p> <p>&lt;3回目&gt;            ・とき 令和元年10月25日(金)            ・ところ 札幌市／かでの2.7            ・参加者 6事業所            ・内容            前回講師から助言・アドバイスを受けた新商品の試食を行い、参加者と意見交換を行いながら、商品のさらなる改良を行う。</p> <p>&lt;4回目&gt;            ・とき 令和2年1月28日(火)            ・ところ 札幌市／かでの2.7            ・参加者 4事業所            ・内容            2回目～3回目において改良した新商品の試食を行い、講師から最終の助言・アドバイスを受け、商品の更なる改良を行う。</p> <p>&lt;5回目&gt;※新商品販売会            ・とき 令和2年3月25日(水)～26日(木)            ・ところ 札幌市／フーズバラエティすぎはら            ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>※計画に基づき、適正に実施されている</b></p> <p>料理専門家を講師にして全道展開し、商品化までされたことは評価できる。            新商品販売会は新型コロナの影響で中止だが、別の機会を予定しており、現在の状況下で適正に実施している。            今後の販売・向上に期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>Ⅳ マッチングサポート事業</p> <p>授産事業所の製品・サービスの受注拡大を図るため、授産事業所と企業等とのビジネスマッチングに関するサポートを行う。</p> <p>■ マッチング事業〔共同受注システム〕</p> <p>授産事業所の製品やサービスの販路の確保・拡大を図るため、インターネット上で企業等が発注する仕事と授産事業所のマッチングの場を設けるとともに、専門コーディネーターによる受発注のコーディネートを行う。</p> <p>また、地域での複数事業所による原材料の共同仕入れや企業の発注ニーズに対する作業量及び作業工程の分担受注等の調整を行うほか、道の各部局等における授産事業所等からの優先調達の相談窓口として、適正な情報提供や助言を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同受注システムの運営</li> <li>・専門コーディネーター及び地域スタッフの配置</li> <li>・優先調達の推進</li> <li>・授産製品、サービスのPR</li> <li>・事業の周知活動</li> </ul> <p>【要求水準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 経営、マーケティング等に関し、十分な知識等を有するコーディネーターが配置されること</li> <li>★ コーディネーター等により積極的に新規企業の開拓が図られるものであること</li> <li>★ 利用者の利便性を考慮するとともに、アクセス数増が期待できる魅力ある専用ホームページ(共同受注システム)の構築・運営がなされること</li> <li>★ 授産事業所の連携・共同化に向けた実現性のある取組であること</li> <li>★ 道の各部局等への情報提供は、定期的かつ活用されやすいものであること</li> <li>★ マッチング事業及び授産事業所の製品・サービスの認知度向上が期待できる効果的かつ効率的な事業のPR方法であること</li> <li>★ 共同受注システムへの授産事業所等の登録拡大に向けた実現性のある取組であること</li> </ul>	<p>■ マッチング事業〔共同受注システム〕</p> <p>1 共同受注システムの運営とマッチング</p> <p>① ホームページの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録状況(令和2年3月末現在) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本情報登録:948施設(前年度比4件減) (登録対象事業所数:1,127件登録率84.11%)</li> <li>・商品登録施設数:329施設(前年度比4件減)</li> </ul> </li> <li>● 登録・更新の呼びかけ(全事業所に郵送にて依頼) <ul style="list-style-type: none"> <li>・道内全未登録事業所に対し郵送で登録の依頼。</li> <li>・全登録事業所にid,passを再通知し、更新、商品登録依頼。</li> </ul> </li> <li>● ホームページの更新・事例紹介・ページの充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・おすすめ製品を紹介するコーナーを作成・更新を行った。</li> </ul> </li> <li>● ナイスハートネット全国版及び都府県版の拡充・拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月に全国版ポータルサイトの更新を実施。</li> <li>日本セルブ、沖縄県、岐阜県、茨城県のほか熊本県が新たに加入し、他県との連携が拡大した。</li> </ul> </li> </ul> <p>② 授産事業所間の連携調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「HOYAエコプロジェクト」へのノベルティグッズ受注の調整を行い、14事業所16商品が採用された。</li> <li>・北海道立子ども総合医療・療育センター内「コドモックル食堂」運営の調整を行い、共同運営を行う2事業所が採用された。</li> </ul> <p>2 専門コーディネーターの配置</p> <p>① 専門コーディネーターの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチング事業(H20.10～現在)コーディネーターで実績のある中小企業診断士を委嘱。</li> <li>・札幌に地域スタッフを配置。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授産事業所と企業とのマッチングコーディネート</li> <li>・マッチングシステムの紹介(企業へ)</li> <li>・受注に当たっての、授産事業所へのアドバイス</li> <li>・製品開発・改良へのアドバイス、専門家の紹介</li> <li>・マッチング実績 平成31年度 商談成立145件(前年度比15件増)</li> </ul> </li> </ul> <p>3 優先調達の推進</p> <p>① 授産製品、役務情報の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市町村向けメールマガジンの発行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナイスハートネットの周知</li> </ul> </li> </ul> <p>※道障がい者保健福祉課の協力を得て実施。</p>	<p><b>B</b></p>	<p><b>※計画に基づき、適正に実施されている</b></p> <p>昨年に引き続きアクセス解析を行った点、HPの更新を行った点は評価できる。刷新が必要と分析しているので改修等、次年度に期待する。</p> <p>アクセス数の低下など課題はあるものの、専門コーディネーターによるマッチング成立件数が増加するなど適正に実施している。販売会の開催数も多く、評価できる。</p> <p>マッチングに個人が多いのは気になる。アクセスの多い地域でどのような商品が受注されているのかわかると今後の商品アイデアに繋がると思う。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
	<p>4 授産製品・サービスのPR</p> <p>① ホームページ「ナイスハートネット北海道」による製品及び役務情報を紹介 ・商品登録施設事業所数:329施設</p> <p>② カタログの配布 ・各種研修会・イベントでチラシパンフレットを配布した。</p> <p>③ 授産製品販売会の開催等 【商品提案】 ●新千歳空港販売「スマートプロジェクト」 と き 令和元年6月27日(木)～29日(土) ところ 千歳市／新千歳空港センタープラザ 13事業所48商品が採用された。  ●セイコーマートポイントカード交換用景品 2019年度(令和元年度)カタログに20事業所28アイテムが採用された  【販売会】 ●ほっかいどうナイスハートフェアinイオン旭川西店 と き 令和元年9月26日(木)～27日(金) ところ 旭川市／イオン旭川西店 出展事業所:12事業所(売上:328千円)</p> <p>④ 道庁障がい者授産施設・通所事業所作品パネル展 ・木育フェアinアリオ札幌 令和元年7月31日(水)～8月2日(金) ・いきいき健康・福祉フェア 令和元年10月18日(金)～20日(日) ・障がい者授産施設 ／通所作業所パネル展 令和元年11月11日(月)～13日(水)</p> <p>⑤ 広報誌による周知活動 北海道社会福祉協議会広報誌「明るい社会」への掲載 季刊発行の1号～3号において、コーナー「きらきらマルシェ」を設け各号6事業所の製品を紹介。</p> <p>⑥ 道外への商品情報提供 ナイスハートネット全国ネット網の拡充促進をとし、本道授産製品の情報提供、販路拡大を図った。</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
	<p>5 事業の周知活動</p> <p>① ホームページによる事業の紹介と製品等の幅広い層への情報提供。  【ホームページによる事業紹介】  センターホームページの運営・更新を行った。  更新回数31回(イベント周知、販路拡大に係るお知らせなど)</p> <p>② 製品パンフレット及びナイスハートネット紹介パンフレットの作成、配布による情報の提供・周知。  【必要に応じた社会福祉関係会議における周知依頼】  ・ ナイスハートネット北海道パンフレットを配布  配布先: 研修会での配布、各事業所、関係団体、マッチング商談企業等への配布  ・ 北海道社会福祉協議会広報誌「明るい社会」への掲載(再掲)  季刊発行の1号～3号において、コーナー「きらきらマルシェ」を設け各号6事業所の製品を紹介。</p> <p>③ イベント等の開催に合わせた広報活動。イベント開催時のパネル展示、ナイスハートネット紹介パンフレット品等を紹介。  市町村向けメールマガジンの発行  ナイスハートネットの周知  ※道障がい者保健福祉課の協力を得て実施。(再掲)</p> <p>④ マスコミ等への情報提供。  道庁障がい者授産施設・通所事業所作品パネル展</p> <p>⑤ 本会広報誌による周知活動。  ・ 北海道社会福祉協議会広報誌「明るい社会」への掲載(再掲)  季刊発行の1号～3号において、コーナー「きらきらマルシェ」を設け各号6事業所の製品を紹介。</p> <p>⑥ 企業の発注、行政機関等の優先調達検討における製品等の情報提供。  ナイスハートネット北海道ホームページの周知及びパンフレットを配布した。</p> <p>⑦ 社会福祉関係者に会議、研修会等における事業、製品の周知。  振興局主催「農福セミナー」、企業向け「農福セミナー」、余市農家、商談にて企業及び農業団体へナイスハートネット紹介パンフレットを配布した。</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>■ <b>多様な販路の確保</b>  授産事業所の製品やサービスの新たな販路の開拓等を図るため、経済団体や企業等が主催する商談会やイベント販売等への参加。  また、商談会等における商品提案力等の向上を図るための研修会等を実施する。</p> <p>【要求水準】</p> <p>★ 出店事業所・商品の選定方法は合理的な方法であること  ★ 研修は事業所の現状及びニーズを踏まえたものであること  ★ 複数の企業(業種)との会議等を設定し、多くの事業所が参加できるものであること</p>	<p>■ <b>多様な販路の確保</b></p> <p>1 実施内容・方法</p> <p>① 企業等が行う各種催事における出展調整、商品調整</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 授産製品の販売機会への出展・出展調整 事業計画のとおり実施(再掲)</li> <li>● 授産製品販売網の確保・開拓 ・事業計画のとおり実施(再掲) ・優先調達促進法に基づく方針未策定自治体へ取り組み 道内179市町村に対し、優先調達推進法を踏まえた普及・啓発を行った。</li> </ul> <p>② 商談会の実施・参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「北海道イオン会合同見本市2019」への参加 と き 平成31年4月17日(水)～18日(木) と ころ 札幌市/アクセス札幌 参加調整 1事業所13品目 ※利用者が描いた商品は、イオン女性従業員から好評であった。事業所の商品を知ってもらう機会として、貴重な機会ではあったが、商談に繋がることは出来なかった。 知ってもらう機会として、貴重な機会であったが、商談に繋げることは出来なかった。</li> </ul>	<p><b>B</b></p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>各種催事への出展調整、商談会への参加など適正に実施している。  スマートプロジェクト等、多くの商品が販売に繋がったことや、セイコーマートの商品、イベント等の実績が上がったこと、周知活動等、評価できる。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
<p>V アクション及び企業認証制度の普及・啓発事業</p> <p>企業等による障がい者就労支援に対する理解と取組を促進するため、「障がい者就労支援の輪を広げる取組～一人1アクション」(以下「アクション」という。)及び障がい者就労支援企業認証制度(以下「企業認証制度」という。)の普及・啓発を行う。</p> <p>■ アクション及び企業認証制度の普及・啓発事業 アクション及び企業認証制度による登録件数拡大に向け、登録申請受付及び制度の普及・啓発活動を行う。</p> <p>【要求水準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★ 申請受付の適切・迅速な処理がなされる体制であること</li> <li>★ 登録・認証企業の公表内容・手段等が効果的であること</li> <li>★ 平成32年度末までに認証企業数220件の目標達成に向けた、効果的な制度のPR方法であること</li> </ul>	<p>■ アクション及び企業認証制度の普及・啓発事業</p> <p>1 申請受付及び審査事務の体制 【申請受付件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業サポーター 1件(24年度)、4件(25年度)、1件(26年度)、1件(27年度)</li> <li>個人サポーター 1件(28年度) ※平成31年度は企業・個人ともに登録なし。</li> </ul> <p>① 地区事務所での受付 本部に加え築事務所においても申請書の交付及び受付を行った。</p> <p>② マッチング事業コーディネーター、地域スタッフの普及啓発活動 企業訪問活動の際に普及・啓発活動を行った。</p> <p>2 登録・認証企業の公表内容・方法等 ホームページにおいて公表・紹介をした。</p> <p>3 アクション・認証制度の広報 ホームページにおいて公表・紹介をした。</p>	<p>B</p>	<p>※計画に基づき、適正に実施されている</p> <p>登録申請及び普及・啓発活動を適正に実施している。企業認証制度の基準が変更になったことも大きく影響していると考えられる。指定法人だけに実績を委ねるものではないが、全道の福祉サービス事業所や企業に制度やメリット等を発信していくことを期待する。</p>

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
VI その他本事業の目的のために必要と思われる取り組み	<p>1 農福連携の促進に向けた実践的体制構築事業</p> <p>① 障がい福祉サービス事業所の施設外就労に関する調査の実施  とき 配布:令和元年10月23日(水)  回収期間:10月25日(金)～11月15日(金)  調査対象 ナイスハートネット北海道登録事業所 957事業所  内 容 回答の属性、施設外就労の実施状況、取り組み内容、動機、  問題点、課題、今後の方向性  回答数 241事業所(回答率25.2%)</p> <p>② JA選果場を対象としたマッチング支援  ・ 選果場見学会の開催  とき 令和元年9月4日(水)  ところ 余市町/余市町農業協同組合選果場  参加者 21名  参加者概要 就労継続支援B型事業所、手話会、ろうあ会、障がい者就業  ・生活相談支援事業所、就労移行支援事業所、養護学校、  総合支援センター  ・ 福祉事業所見学会の開催  とき 令和元年12月16日(月)  ところ 余市町/特定非営利活動法人余市はまなす、コミュニティ茶屋  参加者 3名  参加者概要 余市町農業協同組合職員</p> <p>③ 新規就農者を対象としたマッチング支援  ・ 農業者のための農福連携セミナー  とき 令和元年7月9日(火)  ところ 伊達市/だて歴史の杜カルチャーセンター集合室  参加者 16名  参加者概要 西胆振管内の新規就農者  内 容  1)概要説明「農福連携とは？」  講師 大泉 浩一(北海道障がい者就労支援センター マッチング事業  コーディネーター)  2)報告  講師 竹内 巧 氏(合同会社竹内農園 代表)  3)音目交換・名刺交換会</p>		

実施項目及び要求水準	業務の実績(平成31年4月～令和2年3月)	評価	意見等
	<p>・ 第1回豊浦町農福連携等障がい者就労支援勉強会 (農福連携談話会) と き 令和元年9月26日(木) と ころ 豊浦町／豊浦町役場会議室 参加者 17名 参加者概要 社会福祉法人、放課後デイサービス、新規就農者、 農業研究生、豊浦町社会福祉協議会</p> <p>内 容 1)「豊浦町における福祉事業の状況」 講師 武田 貴博 氏(豊浦町総合保険福祉施設 保健福祉係係長) 2)「農福連携事業について」 講師 大泉 浩一(北海道障がい者就労支援センター マッチング事業 コーディネーター) 3)「農福連携実践者報告」 講師 郡司 佳明 氏(社会福祉法人タラプ i・box 職業指導員)</p> <p>④ 農福マルシェの開催【再掲】</p> <p>⑤「農福連携促進事業委託業務」成果報告会 と き 令和元年11月29日(金) と ころ 札幌市／かでの2.7 参加者 21名 参加者概要 農福連携マルシェ参加事業所、農福連携マッチング支援事 業に関係した福祉事業所、農業者、JA、農業団体、行政機関</p> <p>内 容 1)「農福連携促進事業委託業務」の概要 2)「農福連携マルシェ実施報告」 3)「農福連携マッチング支援実施報告」 本西 誠亮 氏(一般社団法人北海道農業企業化研究所 企画部 業務推進グループ係長)</p> <p>情報提供 4)「農福連携 道南モデルの取組について」 田中 将之 氏(北海道農政部農業経営課 主任)</p> <p>2 各種助成事業との連携 ① 北海道新聞社会福祉振興基金との連携 ・ 小規模通所就労支援事業所器具備品整備等助成事業の周知、取りまとめ、</p> <p>3 関係機関との連携 ① 日本セルフセンターとの連携 ナイスハートネット全国版との連携 (加入都府県:全国、岐阜、沖縄、茨城、熊本) ② 北海道社会就労センター協議会との連携 各種研修事業等での連携 ③ 北海道障がい者就労支援推進委員会への参画 北海道障がい者就労支援センター所長が委員として参画 ④ 特定非営利法人さっされんへの参画 北海道障がい者就労支援センター所長が理事として参画</p>		